



日本政策金融公庫

北央信用組合・札幌中央信用組合と日本政策金融公庫が
 協調融資商品「どさんこ創業サポート」の取扱いを開始
 ～北海道内の信用組合では初の協調融資商品になります～

北央信用組合（理事長：林伸幸）、札幌中央信用組合（理事長：浅山廣司）と日本政策金融公庫札幌支店（支店長：杉山千洋）は、平成29年4月から創業支援を中心とする新たな協調融資商品の取扱いを開始します。

両信用組合は、それぞれ日本公庫と平成26年に「業務連携・協力の覚書」を締結し、協調融資の推進などの取組みを進めてまいりましたが、今回、創業する企業に対する融資可能性の拡大、事務負担の軽減等を図るため、新たな取扱いをスタートします。

この協調融資商品「どさんこ創業サポート」は、両信用組合と日本公庫が相互にリスクを分担し、資金ニーズに対応することで、十分な営業実績がないために資金調達力が弱いとされる創業予定者等の立ち上げを資金面からサポートするものです。また、創業後も各段階で両信用組合と公庫とが連携して支援していきます。

信用組合が日本公庫と連携して、協調融資商品を取扱いするのは、北海道内で初めての取組みとなります。

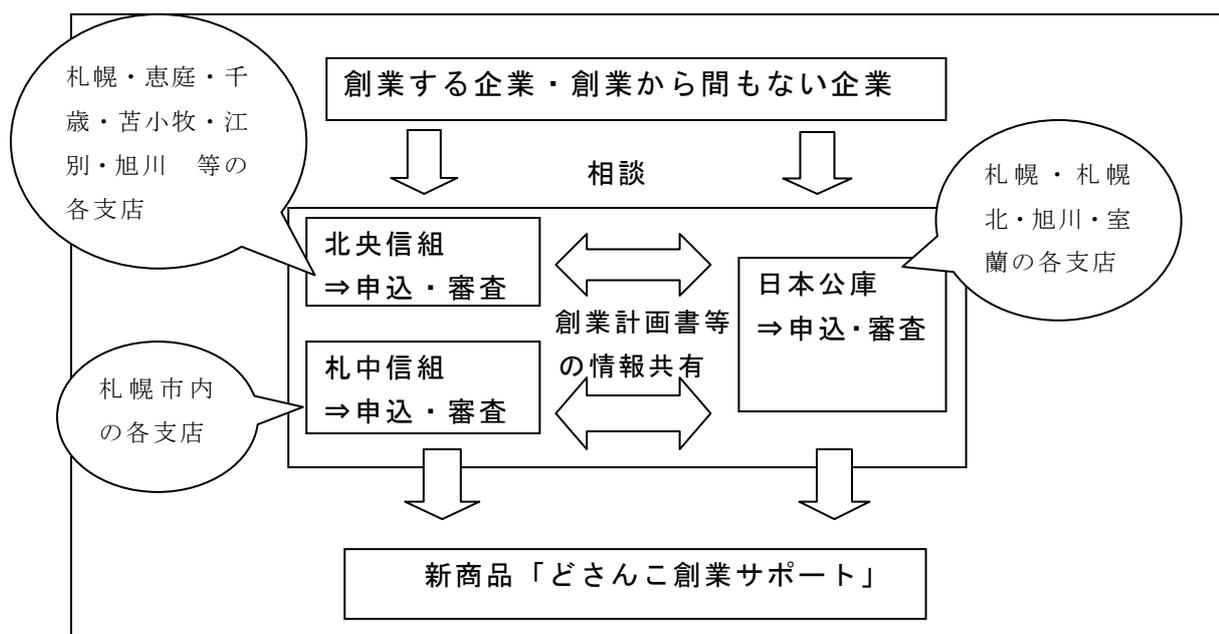
《お問い合わせ先》

北央信用組合 地域支援統括部 担当 加地 TEL 011-261-9151
 札幌中央信用組合 審査部 担当 平林 TEL 011-231-8136
 日本政策金融公庫札幌支店（国民生活事業） 担当：堀井
 TEL 011-231-9132

【 新商品「どさんこ創業サポート」の内容 】

融資対象者	北海道内で創業される方または創業間もない方(創業後概ね5年以内)
融資方法	・北央信組、札中信組と日本公庫との協調融資 ・それぞれの融資メニューを活用(審査は個別に実施)
融資金額	原則、協調融資合計額2,000万円以内 (融資割合は個別に相談)
その他の条件	・返済期間、返済方法、金利、保証等については、それぞれの機関の融資条件による。 ・創業計画書等の創業者の情報を共有

【 新商品「どさんこ創業サポート」のイメージ図 】



【 新商品「どさんこ創業サポート」取扱いによるメリット】

- 資金計画における借入金額が大きく、日本公庫または信用組合単独では対応できなかった企業に対する融資が可能となる。
- 創業計画書等の情報を共有することで、企業の事務負担が軽減する。
- 創業する企業が増加することで北海道の活性化につながる。